

報道発表資料

令和2年6月2日
独立行政法人国民生活センター

「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の受付状況（第2報） - 通帳やキャッシュカード、マイナンバーなどは、絶対に教えない！渡さない！ -

国民生活センターでは、新型コロナウイルス感染症対策の給付金等に関する消費者トラブルの相談を受け付けるため、5月1日（金曜）より「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」（相談受付時間：10時～16時（土曜、日曜、祝日を含む）、相談特設番号：フリーダイヤル0120-213-188）を開設しました。

今回、「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の開設から1か月間の受付状況を速報としてとりまとめました¹。

1. 相談件数

「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」では、5月1日（金）～31日（日）までの1か月間で2,835件の相談を受け付けました。特別定額給付金等の申請方法など給付金関連の相談件数は2,721件で、そのうち特別定額給付金等の詐欺が疑われる相談件数は51件でした。

受付日	受付件数	給付金関連	
			詐欺が疑われる 相談
5月1日（金）～7日（木）	466	432	12
5月8日（金）～14日（木）	489	465	10
5月15日（金）～21日（木）	803	777	12
5月22日（金）～28日（木）	826	804	8
5月29日（金）～31日（日）	251	243	9
合計	2,835	2,721	51

※相談件数には、問合せを含む。

¹ 開設から1週間分の受付状況については、「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の受付状況（第1報）（2020年5月8日公表） http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20200508_1.html

2. 給付金等の詐欺が疑われる相談事例

特別定額給付金等の詐欺が疑われる相談では、「給付金の手続きに必要」などとウソの説明をしたり、自治体や給付金申請手続きの代行などをかたり、自宅への訪問や電話、メール等により個人情報、銀行等の通帳や口座番号、キャッシュカード、マイナンバーカードなどの情報や金銭を詐取しようとする手口がみられます。

【事例1】見知らぬ女性が自宅を訪問し、給付金の申請に必要と言われ、銀行の通帳等を渡した

昨日、見知らぬ若い女性2人が自宅を訪ねてきた。女性は「姪の知人」を名乗り、「特別定額給付金の給付申請に必要なので通帳を預かる」と言われた。信用して銀行の通帳とキャッシュカードも見せたところ、通帳とキャッシュカードを持って去っていった。印鑑は渡していない。

(相談者：70歳代 女性)

【事例2】「給付金申請手続きを代行するのでマイナンバーカードを貸して」と電話があった

自宅に男性から電話があり「新型コロナウイルス給付金の申請で役所は混んでいる。マイナンバーカードを貸してくれば、代行申請をしてあげる」と言われた。自分でやると断って電話を切ったが、詐欺だと思う。

(相談者：60歳代 女性)

【事例3】自治体の職員から「特別定額給付金の申請を代行する」と電話があった

自治体職員を名乗る女性から「給付金は申請したか」と電話があった。「まだ申請していない」と答えると、「代わりにしてあげる」と言われた。「給付金を振り込む銀行口座が必要か」と聞くと、途中で男性に代わり、「個人情報を知っている」と言われた。給付金の申請用紙はまだ送られてきていない。近所の人に聞くと詐欺かもしれないと言われた。どうすればいいか。

(相談者：80歳代 男性)

【事例4】自宅に自治体を名乗り給付金の手続きサービスをすると電話があった

自宅に「市役所です」と電話があった。「給付金の手続きをする。3,000円の手数料がかかる」とのことだったが不審だ。自治体からはまだ申請書は届いていない。

(相談者：50歳代 男性)

【事例5】「給付金の受付番号が届いていない」と電話があり、振込先銀行口座を教えた

オンラインで給付金の申請をして受付番号が発行されているが、知らない男性から「給付金の受付番号が届いていない」「まだ給付金を支給する手続きの順番が来っていない」と電話があった。数日前にまた電話があり、振込先の銀行口座を聞かれたので答え、「いつ振り込まれるのか」と尋ねたところ、電話を切られた。どうすればよいか。

(相談者：60歳代 男性)

【事例6】「手続きを急いでいる方」と書かれた給付金申請書がポストに入っていた

給付金申請書の用紙が自宅のポストに入っており、「手続きを急いでいる方」と書いてある。返

信用の封筒はなく、書類だけが届いた。受取口座の記入欄の書き方が分からない。どうしたらよいか。

(注) 相談者が居住する自治体が発送した申請書を確認したところ、相談者に届いた書類とは記載内容が異なっていた

(相談者：60歳代 男性)

【事例7】郵送で申請した直後にSMSが届き、口座番号や暗証番号を入力してしまった

昨日、特別定額給付金の申請書類を郵送したあと、銀行口座の本人確認というSMSが届いた。記載されていたURLを開き、銀行の店番号と口座番号、暗証番号を入力し、完了をタップしたが何の文言も出てこないため、おかしいと思って再度入力したが、やはり同じだった。息子に話したところ、詐欺にあったのではないかとされた。タイミングがぴったりだったので、すっかり信用してしまった。

(相談者：60歳代 女性)

その他、『定額給付金の振込みは当行へ』と記載されたメールが、利用している銀行名で届いた「給付金が早く簡単に受け取れるフリーメール利用者専用の窓口とのメールが届いた」などの相談や、持続化給付金に関連した相談も寄せられています。

3. 消費者へのアドバイス

- 「給付金の手続きに必要」などとウソの説明をしたり、自治体や給付金申請手続きの代行などをかたり、自宅への訪問や電話、メール等により個人情報、銀行等の通帳や口座番号、キャッシュカード、マイナンバーカードなどの情報や金銭を詐取しようとする手口に注意しましょう
- 暗証番号、口座番号、通帳、キャッシュカード、マイナンバーは「絶対に教えない！渡さない！」
- 市区町村や総務省などが以下を行うことは絶対にありません！
 - ・現金自動預払機（ATM）の操作をお願いすること
 - ・受給にあたり、手数料の振込みを求めること
 - ・メールを送り、URLをクリックして申請手続きを求めること
- 「怪しいな？」と思ったらご相談ください
 - ・消費者ホットライン：「188（いやや!）」番
最寄りの市区町村や都道府県の消費生活センター等をご案内する全国共通の3桁の電話番号です。

- ・「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」：0120-213-188（10時～16時）
http://www.kokusen.go.jp/info/data/coronavirus_khotline.html
- ・お住まいの市区町村
- ・お近くの警察署
- ・警察相談専用電話 #9110

（参考）※2020年6月1日時点

- ・特別定額給付金コールセンター（総務省）：0120-260020（9:00～20:00）
<https://kyufukin.soumu.go.jp/ja-JP/index.html>
- ・持続化給付金事業 コールセンター（経済産業省）：0120-115-570（8:30～19:00）
<https://www.jizokuka-kyufu.jp/>